

8-1-5 道路会社業務検討WG（NEXCO）

1. 道路会社業務検討WGの概要

(1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化・具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

(2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道路会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員または支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

2. 主な活動の記録

過年度のアンケート調査から抽出した業務効率化や合理化等の課題に取り組んだ。

設計や施工管理員の人員不足に加え、働き方改革の影響もあり、NEXCO業務の効率的執行や、より少ない人員での安定した業務遂行を行い、品質の向上を持続的に実現していくことが大きな課題となっている。

(1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 耐震補強設計の数量算出

仮設構造物については、積算可能な数量となるよう簡素化の運用に取り組んでいただいた（3会社共通）。

b) 橋梁基本設計

橋梁の基本設計の内容についてはNEXCO東日本と建コン協で調整し、付属物設計の簡略化等について合意している。

c) 働き方改革

ウィークリースタンスの遵守など改善されたが、施工管理員への影響を注視していくことになった（3会社共通）。

d) 設計ミスの顕在化

設計ミスが工事実施段階で顕在化している場合もあり、建コン協としても設計ミスの撲滅に各社対応している（3会社共通）。

(2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 設計業務

橋梁設計・道路設計業務について、総合評価方式から技術力をより重視するプロポーザル方式を積極的に採用する方針に変更された。

b) 照査業務

設計ミスを減らすための施策として、設計行為完了後、設計会社のチェック期間及びNEXCO側のチェック期間をそれぞれ1ヶ月確保（計2ヶ月）し、その後に納品する制度を導入していただいた（3会社共通）。そのうえでさらに発注者の照査期間を2週間に短縮し、照査結果に対する修正期間を2週間確保する運用に取り組むこととなった。（中日本のみ）

(3) 西日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 貸与資料の迅速化

設計業務開始後、速やかに設計に必要な資料を設計会社宛に送付することをさらに周知していただいた。

b) 複雑な施工計画や交通規制計画への対応

改築や拡幅など高速道路現道との近接施工が多く、緻密な施工計画等が要求されているため、施工計画内容の明確化や、設計変更ガイドラインに基づく適正な運用となるよう要望している。（3会社共通）

c) 施工管理員の品質向上

経験豊富な管理技術者のノウハウを生かしながら持続可能な業務とするため、管理技術者の交代制度が採用される。また、受注会社による研修・学習などの教育の強化について要請されている。（西日本のみ）

3. 次年度の活動について

次年度は、設計技術者・施工管理員の意欲向上を目指し、働き方改革の推進と運用に係る今後の在り方について、アンケート調査を踏まえて対策を検討する。

（道路会社業務検討WG（NEXCO）WG長

秀島 哲雄）